

【様式1-1】

# 第1編 三好市 長寿命化修繕計画

平成29年3月

三好市

## 1. 長寿命化修繕計画の目的

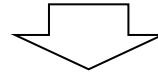
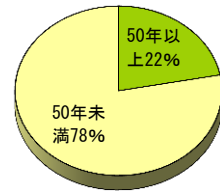
### 1) 背景

三好市建設部が管理する橋梁は、平成28年度現在で橋長14.5m以上の橋梁が115橋架設されている。

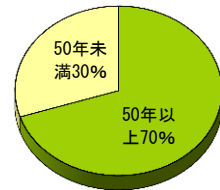
このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の22%を占めており、20年後の平成48年には、70%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。

平成28年度  
25橋  
(22%)



平成48年度  
80橋  
(70%)



### 2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト削減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで三好市では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

## 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	市道 1級	市道 2級	市道 その他	合計
全管理橋梁数	78	89	486	653
うち平成28年度計画策定橋梁数	24	15	76	115
うち平成22年度計画策定橋梁数	19	13	50	82
うち今回追加策定橋梁数	5	2	26	33

長寿命化修繕計画の対象：橋長14.5m以上の三好市管理橋梁

- ・桁下に鉄道がある橋梁
- ・桁下に道路がある橋梁
- ・国道、主要地方道へのアクセス路線に位置する橋梁
- ・市町村間を結ぶ路線に位置する橋梁
- ・生活道路に位置する橋梁



西ノ原橋(高速道路)



林陸橋(JR)

### 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

#### 1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに、「徳島県橋梁定期点検マニュアル」に基づいて5年ごとに定期点検を実施し、橋梁の損傷を早期に把握する。



梯子による点検状況



橋梁点検車による点検状況

定期点検の作業状況

#### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施を徹底する。

#### 4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

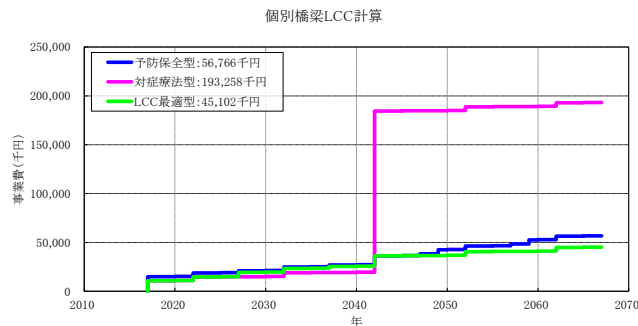
##### 1) 基本的な方針

三好市が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は計画橋梁の約60%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。

##### 2) 策定の方法

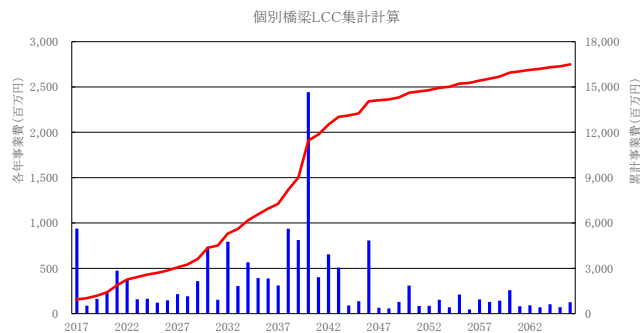
###### ① 各橋梁ごとにLCC計算を行い、最適な修繕時期を設定する。

各橋梁ごとに、現時点から架替えまでのLCC(ライフサイクルコスト)が最も安価になるように、最適な修繕時期を設定する。



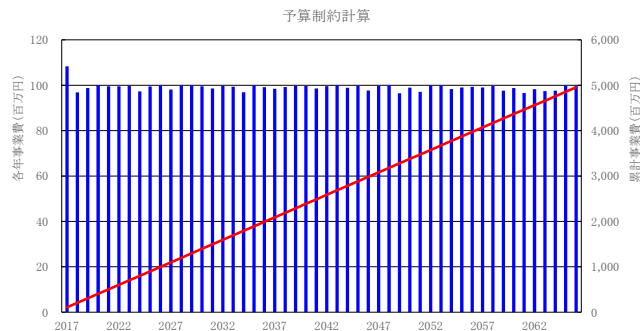
###### ② LCC最適シナリオの算定

現時点から50年間を長期計画期間と位置づけ、上記①の検討結果を集計し、LCC最適シナリオとして年間維持管理費の推移を算定する。



###### ③ 予算制約を考慮した予算平準化の算定

予算制約や修繕優先度など様々な条件を考慮し、持続可能な予算計画を算定する。



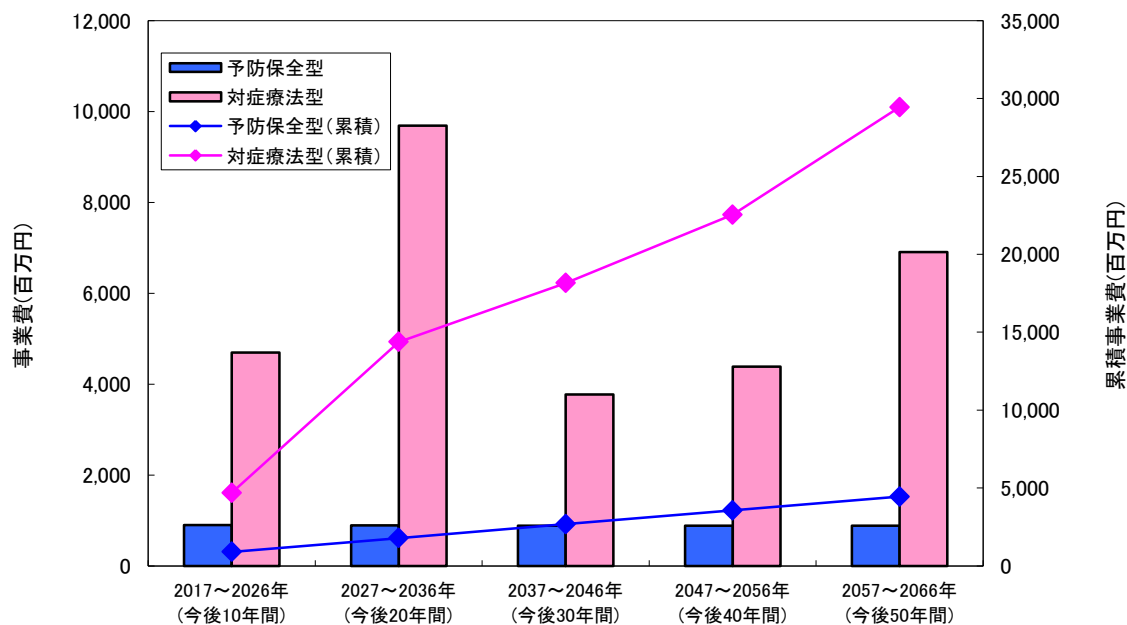
#### 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式1-2による

## 6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する115橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が286億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が50億円となり、コスト削減効果は236億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



## 7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

### 1) 計画策定担当部署

三好市建設部

Te1 : 0883-72-7623

### 2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・四国 理事長  
(徳島大学名誉教授)

水口 裕之

